testo Comfort ソフトウェア Basic 5

取扱説明書

1　目　次

2 説明書について

> ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法をご理解ください。特に、人が傷害を負ったり、製品が損傷したりすることを防止するため、安全上のご注意や警告は必ずお読みください。

> 必要な場合に参照できるように、常にこの説明書をお手元に置いてください。

> この説明書は、製品とともに後任担当者に必ずお引継ぎください。

本ソフトウェアを使用するには、Windows®オペレーティング・システムに関する知識が必要です。

この説明書で使用している記号の意味は次の通りです。

文字/記号	説明
i	重要情報：取扱上の注意や重要事項に関する説明です。
1. … 2. …	操作： 連続する操作です。 番号に従って操作してください。
> …	操作： 単独の操作、またはオプションの操作です。
- …	操作の結果を示します。
メニュー	ソフトウェアによりディスプレイ上に表示される文字や記号などを表します。
[OK]	計測器上のコントロール・キーまたはプログラムにより表示されるコントロール・ボタンを表します。
… | …	メニュー内の機能/パスを示したものです。
“…”	入力値の例を示したものです。

3 仕様

3.1 概要

testo Comfort ソフトウェア Basic 5 は、testo 製計測器（以下「計測器」と呼びます）で記録したデータを PC 上に読み出し、グラフで表示したり、外部保存したりするための PC 用ソフトウェアです。

PC に計測器のデータを読み込む際は、専用のシリアル・インタフェースが必要となります。

計測器で記録したデータには日付や時間も記録されています。

3.2 システム要件

オペレーティング・システム（OS）

本ソフトウェアを作動させるには次の基本ソフトが必要です。

- Windows XP Service Pack 3（SP3）以降
- Windows Vista
- Windows 7
- その他：ご要請があれば対応

ハードウェア

本ソフトウェアで快適に作業を進めるには、次の要件が満たされている必要があります。

- USB1.1 以上のポート
- Internet Explorer 5.0 SP1 またはそれ以上
- 2 GHz以上の CPU

---

i　日付・時間は、PC の日付・時間を使用して自動的に設定されます。システム管理者は、計測データの信頼性を高めるため、日付・時間の設定が実際の日付・時間と合致しているか定期的に確認し、必要に応じ調整してください。

---

4 準備作業

4.1 ソフトウェアのダウンロード

testo Comfort ソフトウェア Basic 5 は、testo 社のホームページからインターネットを通じてダウンロード可能ですが、CD（製品型番：0572.0580）でも入手可能です。

1. インターネットを通じてのtesto Comfort ソフトウェア Basic 5のダウンロードは、testo社のホームページ（www.testo.com/download-center）から自由に可能です。（登録は必要です）
2. ソフトウェアの ZIP ファイルを PC へ保存します。

4.2 ソフトウェア/ドライバのインストール

本ソフトウェアのインストールには、アドミニストレータの権限が必要です。

Comfort ソフトウェアのバージョン 3.4 あるいは 4.0 が既にインストールされている場合は、下記の手順に従ってインストールを行ってください。

1. 既存ソフトウェアの更新。
   testo社のホームページ（www.testo.com/download-center）から自由にダウンロード可能です。（登録は必要です）
2. Comfort ソフトウェアのバージョン 5 のインストール。
3. アーカイブから機器リンクを削除し、Autodect により再度リンクを行います。Comfort ソフトウェア 3.4 の取扱説明書を参照ください。

1. ダウンロードしたソフトウェア・プログラムZipファイルが入っているフォルダを選択して、Zipファイルを解凍します。
   または
1. コンピュータのCD-ROMドライブにソフトウェア・プログラムCDを入れます。
2. **Setup.exe** ファイルをクリックして起動します。
3. インストール・ウィザードの指示に従い作業を進めます。
   Windows Vista にインストールする場合：
   次の手順に従ってインストレーションを進めてください。
   - 「**ユーザー・アカウント制御**」ウィンドウが開きます。
     > 「**続行**」をクリックします。
   - 「**Windows セキュリティ**」ウィンドウが開きます。
     > 「**このドライバソフトウェアをインストールします**」をクリックします。
4. ソフトウェアのインストールを終了するには、「**完了**」をクリックします。

ソフトウェアのインストール完了後、PC に計測器を接続して、ドライバのインストールを続行します。

5. USB ケーブルを使用して、PCに計測器を接続します。
   - 接続が確立します。
   - ドライバのインストールが自動的に始まります。

Windows XP の場合： ソフトウェアがインストールされると、データロガとPC の接続に使用する USB ポートをシステム管理者が設定できるようになります。

1. データロガをUSBポートに接続します。
2. 175__176 ドライバをインストールします。

> データロガの接続が可能となり、システム管理者の権限がなくても USB ポートが使用できるようになります。

Comfort ソフトウェア 5 のアンインストールを行うと、手作業によるドライバのアンインストールも必要となります。

ドライバのインストールが自動的に始まらない場合は、次の手順でインストールを行ってください。

Windows XP の場合：

- 「**新しいハードウェアの検出**」ウィンドウが開きます。

1. 「**いいえ、今回は接続しません**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。
2. 「**ソフトウェアを自動的にインストールする**」を選択し、「**次へ**」をクリックします。

ドライバが自動的に検出されない場合：

> CD 内の「**Driver**」フォルダを選択して、「**次へ**」をクリックします。

3. 「**完了**」をクリックします。

Windows Vista/Windows 7 の場合：

- 「**新しいハードウェアの検出**」ウィンドウが開きます。

1. 「**ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします**」をクリックして、「**続行**」をクリックします。

ドライバが自動的に検出されない場合：

> 「**コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します**」をクリックして、「**参照**」ボタンをクリックします。CD 内の「**Driver**」フォルダを選択して、「**次へ**」をクリックします。

- 「**Windows セキュリティ**」ウィンドウが開きます。

2. 「**このドライバ ソフトウェアをインストールします**」をクリックします。
3. 「**閉じる**」をクリックします。

4.3 ソフトウェアの起動

Comfort ソフトウェアを起動する

Comfort のユーザー・インタフェースは、PC のオペレーティング・システムが日本語をサポートしていない場合は、英語で表示されます。

> **「スタート」**→**「プログラム**(Windows XP) または **すべてのプログラム** (Windows Vista, Windows 7)」 → 「**Testo**」 → 「**Comfort Software**」の順にクリックします。

Windows Vista の場合は、ソフトウェアを最初に起動すると、「**ユーザー・アカウント制御**」ウィンドウが開きます。

> 「**許可**」をクリックします。

5　　ソフトウェアの使用法

5.1.　　スタート画面

Comfort ソフトウェア Basic 5 を起動すると、下記のようなスタート画面が表示されます。

① メニュー・バー（ステータス情報付き）

② クイック・アクセス・ボタン（プレビュー画面付き）

> **i** 計測器が何も接続されていないと、画面上には接続用画面が表示されます。

5.2.　　設定

> **i** 画面上に表示されるユーザー・インタフェース言語は、オペレーティング・システムの言語で表示されます。そのオペレーティング・システム言語をサポートしていない場合は、英語で表示されます。

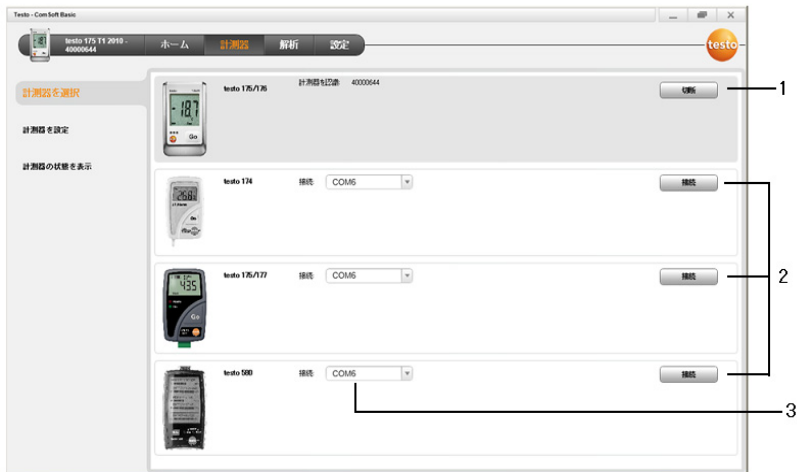
1. メニューの「設定」を選択します。
2. 言語を選択します。
3. [保存]をクリックします。
4. ソフトウェアを閉じます。
5. ソフトウェアを開きます。

– 設定言語で、ソフトウェアのユーザー・インタフェース画面が開きます。

5.3. 計測器の接続

✓ 計測器を PC へ接続します。

> スタート画面あるいはメニューから、計測器 | 計測器の選択 を選択します。

– 計測器が写真、型番名とともに表示されます

1. PC へ接続されているデータロガ（0572.1560、0572.6560、0572.1751–1754、0572.1761–1767 など）があると、ここに表示されます。
2. Comfort ソフトウェアが起動すると、必ず表示されるデータロガ（0572.1560、0572.6560、0572.1751–1754、0572.1761–1767 など）がここに表示されます。
3. 接続されている COM ポートを選択するためのボタンです。

データロガ（0572.1560、0572.6560、0572.1751–1754、0572..1761–1767 など）の場合

1. データロガを選択して、「接続」をクリックします。

> 同時に複数のデータロガを選択できません。

– メニュー・バーの左端に計測器の写真が表示されます。
– 「接続」と表示されていたボタンが、「切断」の表示に変わります。
– 計測器 | ステータス が表示されます。

> ステータス・ディスプレイには各種情報が表示されますが、その表示を変更することはできません。

データロガ（0563.1741、0563.1754−1761、0563..1771−1775、0554.1778 など）の場合

1. COM ポートを選択します。（通常は、一番大きな番号の COM ポートから選選択します。下記の「接続できなかった場合」を参照）
2. データロガを選択して、「接続」をクリックします。

---

i 同時に複数のデータロガを選択できません。

− メニュー・バーの左端に計測器の写真が表示されます。
− 「接続」と表示されていたボタンが、「切断」の表示に変わります。
− 計測器 | ステータス が表示されます。

---

i ステータス・ディスプレイには各種情報が表示されますが、その表示を変更することはできません。

接続できなかったとき：

Windows XP の場合：

1. スタート | コントロール・パネル | パフォーマンスとメンテナンス | システム | ハードウェア | デバイス・マネジャーを選択します。

Windows Vista の場合：

1. スタート | システム・コントロール | システムとサウンド | デバイス・マネジャーを選択します。

Windows 7 の場合：

1. スタート | システム・コントロール | システムとセキュリティ | システム | デバイス・マネジャーを選択します。
2. 「接続（COM ポートと LPT）」をクリックします。
− 接続項目が表示されます。
3. COM インタフェース番号の後に「testo.....」が付いている項目を探します。
4. 選択フィールド（3）のなかの該当 COM インタフェース番号を選択します。
5. 「接続」ボタンをクリックします。

---

i COM インタフェース番号は、USB インタフェースを常に同じ USB ポートに接続していたり、あるいは接続したままにしているときは、同じ番号になります。

5.4. 計測器の設定

✓ 計測器が testo Comfort ソフトウェア Basic 5 が入っている PC へ接続され、メニュー・バー上に表示されていることを確認してください。9 ページの「計測器の接続」を参照。

✓ 計測器が計測モードになっていないことを確認してください。必要に応じて、[計測ストップ] をクリックしてください。

1. ホーム・ページで 機器設定 を選択するか、メニューの 計測器 | 計測器を設定 | 機器設定 を選択します。
2. 必要な設定を行います。

- 計測開始条件：
  - 開始日時： 設定された時間になると計測を開始します。
  - 計測器のキースタート： [Go] ボタンを 3 秒間以上押し続けると計測が始まります。
  - PCスタート： [計測スタート] をクリックすると計測が始まります。
  - 演算式： 予め設定した事象が発生すると計測が始まります。各計測チャネル毎に限度値を設定できます。設定された限度値を超えると計測が始まり、[計測ストップ] がクリックされるまで継続します。
- 計測終了条件：
  - メモリフル： メモリが一杯になると計測を終了します。

- ラップアラウンドメモリ： メモリが一杯になると、最も古い計測値から順番に上書きしていきます。従って、[計測ストップ] をクリックしない限り、計測は継続していきます。
  - 計測回数： 設定された計測回数に達すると、計測を終了します。
- 計測間隔： 計測値の保存間隔を設定します。計測間隔は表示間隔の倍数でなければなりません。
- 表示間隔(Measuring interval)： 計測値のディスプレイ表示間隔を設定します。
- 計測単位： 計測単位は、計測値のディスプレイ表示や保存の際、計測値とともに表示・保存されます。
- チャネル設定： チャネル名や上限値、下限値を入力します。

  センサが接続されているときはセンサのタイプを選択します。

  接続口をブランキング・プラグで閉鎖しているときは： switched off を選択してください。

---

i チャネル番号は、機器のハウジング上に表示されているポート番号に対応しています。

チャネル番号とセンサ・タイプの設定が正しく対応していないと、計測値は記録されませんのでご注意ください。

---

3. 計測器設定 タブをクリックして、計測器の設定に進みます。
4. 計測器名(最大 15 文字)、説明書き(最大 70 または 265 文字：計測器により異なる)などを入力し、ディスプレイ設定を行います。
5. [計測器へ転送] をクリックします。

– これで設定は終了です。

> 計測開始条件が PCスタート の場合： [計測スタート] をクリックします。

テンプレート

テンプレートを使用すると、設定データを保存でき、必要に応じてそれを呼び出して使用できます。

1. テンプレート選択 ボックスにテンプレート名を入力します。
2. [テンプレートして保存] ボタンをクリックします。

保存されているテンプレートの呼び出し：

1. テンプレート選択ボックスに、必要なテンプレート名を入力します。

– 保存されているテンプレートが表示されます。

2. [計測器へ転送] ボタンをクリックします。

– 設定データがデータロガに転送されます。

5.5. 計測データのインポート

データロガからのインポート

✓ 計測器に計測データが保存されている、そして計測器は PC へ接続されていることを確認してください。

1. スタート・ページから **計測データのインポート** を選択、あるいはメニューから **解析** | **インポート** | **計測データの読込み** を選択します。

– 計測器名、シルアル番号、計測場所など、計測データに関する詳細データが表示されます。

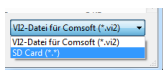
2. 計測データを保存するフォルダのアイコンをクリックします。
3. **[インポート]** をクリックします。

- 画面が **インポート履歴** タブへ変わります。
– 現在のインポート状態を表示するステータス・バーおよび前回実行したインポート処理などが表示されます。
– 計測データのインポートが終了すると、ディスプレイが **解析** 画面に変わります。

SD カードからのインポート

✓ 計測データが SD カードにコピーされていることを確認してください。

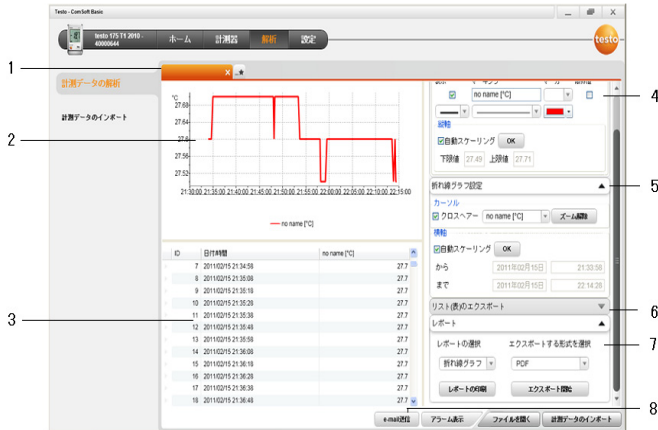
✓ SD カード・リーダーを PC へ挿入します。

1. **解析** | **計測データの解析** を選択します。
2. **[ファイルを開く]** をクリックします。
3. SD カードを選択します。
4. ファイル・タイプとして **SD カード(*.*)** を選択します。

5. 必要な計測データ・ファイルを選択します。
6. **[開く]** をクリックします。

– 選択した表示形式で計測データが表示されます。

5.6. 計測データの解析

✓ 計測データがインポートされていることを確認してください。前ページの計測データのインポートを参照。

1. メニューから **解析** | **計測データの解析** を選択します。

1. 開かれているファイルのファイル名。このタブでは、計測データの編集が行えます。
2. グラフ形式で表示されている計測データ。
3. 表形式で表示されている計測データ。アラーム値を強調表示したいときは: **[アラーム値の表示]** ボタンをクリックします。
4. 計測チャネルの設定。
5. グラフの設定。グラフ内でマウス・ホイールを回転させることで、拡大表示が自由に行えます。
6. 選択した計測データをクリップボードやさ表ソフトへエクスポートできます。
7. レポートの印刷あるいはエクスポート。
   [レポートの印刷] ボタンによりレポート形式の設定が行えます。**[エクスポート開始]** ボタンを押すと、標準レポート形式で、ファイルを直接保存できます。

> **i** pdf、xls、html 形式の場合、エクスポートできる計測値は最高 65,000 です。これ以上の計測値をエクスポートするときは、csv または csv（m）形式でエクスポートしてください。

8. e メールによる計測データの送信: **[e-mail で送信]** をクリックします。

> **i** PC内にeメール・アプリケーションがインストールされている必要があります。

6 ヒントおよび補足情報

6.1. トラブルシューティング

エラー状態	考えられる原因と対策
計測器からの応答がありません。	このエラー・メッセージは、ソフトウェアがPCに接続した計測器と通信できないとき、あるいは計測器からの応答がないとき表示されます。 ・ 計測器の電源がオンになっているか確認してください。 ・ ケーブルが正しく接続されているかチェックしてください。 ・ 計測器に正しい電流・電圧が供給されているかチェックしてください。 ・ 接続ケーブルが正しいCOMポートへ接続されているかチェックしてください。
名前の定義が正しくない: 記号；！、？、＊、;、/などはロケーション名、フォルダ名などに使用できません。	これらの記号を使用せずに、再度定義してください。
同じ計測器名が既に使用されています: 違う名前を選択してください。	新しい計測器の設定を行うときは、名前が重複しないようご注意ください。異なる計測器に同じ名前を付けることはできません。